



平成 26 年 10 月 30 日

各 位

会社名 東洋エンジニアリング株式会社
代表者 取締役社長 石橋 克基
(コード:6330、東証第一部)
問合せ先 経理部長 三代川 康雄
(TEL:047-454-1521)

当社子会社（東洋ビジネスエンジニアリング株式会社）の業績予想修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である東洋ビジネスエンジニアリング株式会社は、平成 26 年 10 月 30 日にて平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の業績予想の修正を、添付資料のとおり公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件による当社の平成 27 年 3 月期通期連結業績予想に与える影響は軽微であります。

(添付資料)

- ・ 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社開示資料「平成 27 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ」

以 上

平成 26 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
 代表者名 取締役社長 大澤 正典
 (コード番号 4828 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役 片山 博
 電 話 03-3510-1600

平成 27 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)の業績予想につき、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期連結累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 四 半 期 純 利 益 |
|--|-------|---------|---------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想 (A) | 6,000 | 110 | 105 | 60 |
| 今回修正予想 (B) | 5,931 | 148 | 146 | 65 |
| 増減額 (B-A) | △69 | 38 | 41 | 5 |
| 増減率 (%) | △1.2% | 34.5% | 39.0% | 8.3% |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期) | 5,864 | 171 | 156 | 75 |

(2) 通期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|-----------------------------|--------|---------|---------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想 (A) | 13,000 | 450 | 440 | 250 |
| 今回修正予想 (B) | 11,700 | 200 | 190 | 70 |
| 増減額 (B-A) | △1,300 | △250 | △250 | △180 |
| 増減率 (%) | △10.0% | △55.6% | △56.8% | △72.0% |
| (ご参考) 前期実績(平成 26 年 3 月期) | 12,635 | 509 | 517 | 249 |

(3) 修正の理由

・第 2 四半期連結累計期間(平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日)

売上高につきましては、ソリューション事業の売上高が計画を下回り、プロダクト事業の売上高は計画を上回ったものの、全体では計画に届かず売上高は 5,931 百万円(前回業績予想比 69 百万円減)となる見込みです。

利益面では、ソリューション事業の利益が売上高減少と利益率低下により計画を下回りました。他方、プロダクト事業の利益は、ライセンス販売が堅調に推移したことや売上高増加等により計画を上回りました。これらにより、営業利益は 148 百万円(前回業績予想比 38 百万円増)、経常利益 146 百万円(前回業績予想比 41 百万円増)、四半期純利益 65 百万円(前回業績予想比 5 百万円増)となる見込みです。

・通期（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日）

ソリューション事業の上期受注高は、失注等の影響により計画を下回りました。今後の営業活動に注力して参りますが、下期においても同事業の受注高は計画を下回る見込みです。これらに伴い、通期の同事業の売上高と利益は計画を大幅に下回る見込みです。

他方、プロダクト事業の売上高と利益は、引き続き堅調に推移することが見込まれますが、ソリューション事業の落ち込みを補うこととはならず、全体として売上高、利益ともに計画を大幅に下回る見込みです。

売上高は 11,700 百万円（前回業績予想比 1,300 百万円減）、営業利益は 200 百万円（前回業績予想比 250 百万円減）、経常利益 190 百万円（前回業績予想比 250 百万円減）、四半期純利益 70 百万円（前回業績予想比 180 百万円減）となる見込みです。

2. 平成 27 年 3 月期 個別業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

| | 売上高 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|---|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想（A） | 5,800 | 95 | 55 |
| 今回修正予想（B） | 5,770 | 147 | 66 |
| 増減額（B－A） | △30 | 52 | 11 |
| 増減率（％） | △0.5% | 54.7% | 20.0% |
| （ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 26 年 3 月期第 2 四半期） | 5,646 | 150 | 71 |

(2) 通期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想（A） | 12,500 | 380 | 210 |
| 今回修正予想（B） | 11,400 | 160 | 50 |
| 増減額（B－A） | △1,100 | △220 | △160 |
| 増減率（％） | △8.8% | △57.9% | △76.2% |
| （ご参考） 前期実績（平成 26 年 3 月期） | 12,176 | 461 | 220 |

(3) 修正の理由

連結業績予想と同様の理由により、第 2 四半期累計期間および通期の業績予想を修正いたします。

第 2 四半期累計期間は、売上高 5,770 百万円（前回業績予想比 30 百万円減）、経常利益 147 百万円（前回業績予想比 52 百万円増）、四半期純利益 66 百万円（前回業績予想比 11 百万円増）となる見込みです。通期業績予想は、売上高 11,400 百万円（前回業績予想比 1,100 百万円減）、経常利益 160 百万円（前回業績予想比 220 百万円減）、当期純利益 50 百万円（前回業績予想比 160 百万円減）となる見込みです。

なお、当期の配当金につきましては、平成 26 年 5 月 9 日公表から変更なく、1 株につき 14 円の年間配当金（中間配当金および期末配当金、各々 1 株につき 7 円）を予定しております。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。